

# 南成瀬中だより



—2024年度 第11号—

ホームページアドレス <https://machida.schoolweb.ne.jp/1320099>



2025年3月25日発行

共生、自主、貢献  
町田市立南成瀬中学校

校長 杉浦 元一

Tel 042 (729) 3441

Fax 042 (721) 4478

## 「面白い」と納得できる人生を送るために

町田市立南成瀬中学校 校長 杉浦 元一



保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。卒業証書を受け取ったお子様の堂々とした姿をご覧になり、お子様のご誕生からの多くの出来事を思い出されたのではないのでしょうか。小さかったお子様にミルクを飲ませたり、だっこやおんぶであやしたり、高熱が出て一晩中看病したのも、ついこの間のこのように感じていらっしゃる方もいるかもしれません。そんなお子様たちも、保護者の方のたくさんの愛情を受けて、こんなにも立派に成長されました。お仕事と子育ての両立や、思春期のお子様との関わり方、中学卒業後の進路など、これまでご家庭でも様々なお悩みがあったことと存じます。それでも、どんなときも温かいご支援をいただいたことを深く感謝いたします。新しい世界に一步を踏み出すお子様に、今後も一層の励ましとご指導をよろしくお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学以来、一人一人がそれぞれに努力を積み重ねて今日の卒業式を迎えたことに対して、心から敬意を表します。皆さんは、学校が新しい教育目標「共生・自立・貢献」を定めた際の一期生でした。合唱コンクールや体育祭での皆さんの全員の活躍はもちろん、日常の学校生活においても、仲間と共に活動し、自立に向けて力を伸ばし、その力を様々な場面で発揮してくれました。その雄姿は、後輩たちにもしっかりと受け継がれていくものと思います。

卒業式は、人生の一つの節目であり、これまでの生活を振り返り、これからの人生をどう生きるかを考える特別な場です。これから皆さんが進んでいくステージでは、すべてが思い通りにいくとは限りません。ときには、なんだか毎日が面白くない、この先の人生なんて面白くなさそう、そんなふうに感じてしまうこともあるかもしれません。

そもそも「面白い」とは、どういうことでしょうか。面白い映画、仕事が面白い、というように、興味深く心が引かれる様子の「面白い」。面白い恰好、冗談が面白い、というように、つい笑いたくなる様子の「面白い」。面白い風景、鳴き声が面白い、というように、一風変わっていて珍しい様子の「面白い」。さまざまな「面白い」には共通のキーワードがあります。それは「共感」と「驚き」です。

共感とは、相手の立場を理解して感情に寄り添うことです。これまで皆さんは仲間との間で、うれしいことや悩んでいることを共有することで、安心したり、楽しい気持ちになったり、励まされたり、勇気をもらったりしたと思います。共感とは、社会で生きていく上での強力な武器となります。

驚きとは、日常生活に新しい視点や気づきを与えてくれる感情です。これまでの学校生活の中でも、新しい知識を得たときや、新しい人との出会いがあったときなど、日々驚きがあったことと思います。驚きは、もっと知りたい、もっと頑張りたい、もっと成長したという原動力となります。

共感と驚きは、私たちが人生をより豊かに生きるために欠かせないものです。共感が人との繋がりを強め、驚きが新しい世界を切り開く力となります。時には他者と心を通わせ、時には新しい驚きに満ちた経験を重ねて、「面白い」と納得できる人生を歩んでいってほしいと願っています。ふと現実を見れば、この社会には差別や偏見、暴力や貧困、自然災害や環境破壊などで悲しんでいる人がいます。いまこの瞬間も戦争の恐怖に苦しんでいる人がいます。しかし、皆さん一人一人が「面白い」と思える人生を追い求めていくことが、社会全体を明るくすることにつながると信じています。

卒業生にとって、南成瀬中学校は、かけがえのないふるさとです。教職員、在校生は、卒業生の皆さんがいつでもふるさとを誇りに思ってもらえるように頑張りますので、皆さんもぜひふるさとの発展を見守り、時にはふるさとの様子を見に来てもらえると嬉しいです。また会える時を楽しみにしています。

(2025年3月19日 卒業式・式辞より)

## 国際理解学習（1年生）

2月4日（火）に1年生は国際理解学習を行いました。パプアニューギニアとナイジェリア出身のお二人をお招きし講演をしていただきました。事前にこの2国についての調べ学習を行って当日を迎えた生徒たちでしたが、調べた情報にはなかった話を聞き、生徒たちが驚きの表情を浮かべた場面もありました。ナイジェリアにはお米のジュースがあったり、パプアニューギニアには食材を土の中に埋めて調理する方法があったりと、日本にはない文化についてのお話を生徒たちは興味津々な様子で聞き入っていました。

## EXPO スクールキャラバン（2年生）

2月12日（水）にEXPO スクールキャラバンが行われました。この取組は2025年大阪・関西万博を契機として全国の小・中学校等で実施される教育プログラムで、生徒たちに万博の意義を理解し関心を持ってもらうとともに、企業の視点からの未来社会のデザインについて学ぶ機会となっています。次年度の3年生は修学旅行で万博訪問が予定されており、事前学習の一環として行われました。この日は住友EXPO推進委員の方から万博の概要や住友グループの万博での取組などを紹介していただきました。生徒たちは説明を聞きながら、自分たちが万博を訪問する様子を思い浮かべていました。

## 道徳授業講演会（1年生）

2月20日（木）、1年生の道徳の時間に八王子視覚障害者福祉協会理事長の宮川純さんをお招きし講演会が行われました。講演ではご自身の人生を振り返りつつ、視覚障がい者の方たちの生活について多くのことを教えていただきました。同じ種類の障がいでもその程度によって状況が異なるなど生徒たちにとって今まで気づけなかったことも多く教えていただきました。講演の途中では、代表生徒がアイマスクをつけながらお茶を飲み、おにぎりを食べることに挑戦しました。最後にはヘルパーとしていらっしゃった清水さんとブラインドダンスを披露してくださいました。

## 次世代リーダー育成道場 オンライン交流（2年生）

東京都教育委員会は都立高校生を対象に次世代リーダー育成道場を実施しています。これは海外留学を希望する都立高校生等に対して、事前研修・留学・事後研修を実施し、世界で活躍する人材を育成する取組です。この制度を利用してカナダ・アメリカに留学中の都立高校生3名と本校の2年生が、2月28日（金）にオンラインで交流会を行いました。高校生からは留学先での学校生活、生活習慣、英語の学習方法、将来の夢などについてクイズを交えながら話をしてもらいました。2年生はとても興味深く留学中の高校生の話を聞き、自分の進路を考える良い機会となりました。

## ビブリオバトル（1・2年生合同）

3月4日（火）の総合的な学習の時間に1・2年生は合同でビブリオバトルを行いました。自分が読んだ本についての書評合戦であるビブリオバトルですが、両学年とも今年度はすでに学年内で実施しています。今回は1つのグループに1・2年生が交じった形式で実施しました。教室で机を向かい合わせての発表や意見交換を行い、普段あまり関わることのない生徒との活動でやや緊張した様子でした。今後も学年を超えて共通の活動を行うことで、生徒たちの学ぶ意欲、自尊感情、規範意識などを高めてまいりたいと思います。



国旗の説明をしている様子



画像等を使用している説明の様子



ブラインドダンスの様子



体育館でのオンライン交流会の様子



10教室に分かれての実施

## 表彰

### ○第64回東京都中学校書き初め紙上展

#### 金賞

3年 T.H さん F.A さん K.K さん  
T.H さん T.S さん T.Y さん  
O.I さん K.H さん S.Y さん

### ○卓球部

令和6年度町田市中学校卓球研修大会  
女子2年生以下シングルス 第5位 F.S さん

### ○公益財団法人東京都体育協会

#### 体育優良生徒

3年 O.Y さん K.A さん

### ○産業教育振興会

#### 優良卒業生

3年 K.H さん S.S さん

### ○美術

令和6年度学校文化行事 第74回東京都公立学校美術展覧会

作品名 「金屏風」

3年 F.K さん

作品名 「マイ・キャラクター」

2年 I.R さん N.M さん S.N さん S.S さん  
K.R さん T.H さん

### ○家庭科

令和6年度学校文化行事 第74回東京都公立学校美術展覧会

タイトル 「ちょっといい住生活レポート」

1年 M.A さん K.M さん

タイトル 「地域に伝わる正月料理調べ」

2年 S.R さん F.S さん M.S さん T.H さん